

議題（１）目指すべき中学校のあり方について

豊山町学校施設改築・長寿命化計画（P39）					豊山中学校の現状	
学校施設の目指すべき姿			整備内容例			
1	教育環境の質的向上	1	多様な学習形態への対応	・ソフト・ハードの両面で障壁の少ない 柔軟性のある教育環境	→クラス、学年の枠を超えた交流・連携 →移動間仕切などフレキシブルな空間整備	・学年集会・生徒会活動（挨拶ボランティアなど）、部活動・委員会活動など ・移動間仕切りはない
				・多様な学習、効果的な学習活動のための空間整備	→ きめ細かな学習指導 （習熟度別・少人数指導）に対応するための諸室	学年室（各学年）が必要だが1，2年しかない。
					→ 情報教育 に対応した空間（図書室・PC室を一体整備したメディアセンター、学習効果を高めるICT環境の整備）	・図書室とPC室は離れている。 ・校内LAN環境は整備済
					→ 学習の場として捉えた廊下・階段等の共用空間 の整備（グループワークスペース、作品・教材展示スペース、階段教室などの発表の場）	廊下・階段等の共用空間を活用して、生徒の作品等を展示している。ただ、共有空間は狭い。
					→ 食育の場 となる空間（給食の情報展示、異学年・地域交流のできるランチルームや家庭科室）	・給食の情報は、教室内や廊下などに掲示している。 ・ランチルームは多目的に活用している。
					→ のびのび運動できる空間 （部活動に対応した屋内外の運動スペース・設備の充実、安全な遊び場の確保）	・現在の部活動（文化創作、吹奏楽、英語、文学、テニス、バスケ（女）、バレー（男女）、卓球（男女）、野球、サッカー、ソフトボール） ・運動場の砂埃や野球のボールについて、周辺住民から苦情を受けている。
		2	学校ごとに特色のある教育環境	・学校ごとの立地等を活かした 特色ある教育環境	→小学校と中学校の連携 →学校とその他公共施設の連携 →地域との連携 →ビオトープなどの屋外学習スペースの充実	・特別支援学級見学会、しいの木の福祉フェスティバルなどへの参加、町の防災訓練への生徒の参加、町体育大会への吹奏楽部の参加、町文化展への作品展示また吹奏楽部の演奏参加 ・1町1校であるため、地域に期待され生徒が町や各団体の行事に本校の生徒が参加させていただくことが多い。 ・屋外の池で鯉を飼っている。
					3	生徒数に対応した空間の確保
		・障がいを持つ児童・生徒のための 教育環境整備	→特別支援学級の整備・充実 →インクルーシブ教育※のための空間整備（普通教室や特別教室へのバリアフリーアクセス） ※インクルーシブ教育：障害のあるものと障害のないものが、可能な限り共に学ぶ仕組み。	・令和3年度3クラス14人（1年生4人、2年生6人、3年生4人）、生徒の障害の種類によりクラス数に変動あり ・障がい者用エレベーター1基あり。		
		4	働きやすい執務環境	・教職員がより教育に専念できる働きやすい空間整備	→適正規模の執務スペース、校務センター化（職員室・印刷室などの管理諸室を集約） →事務負担軽減のための校務処理のIT化への対応 →十分な駐車場の確保	・現在の職員数：48人 ・職員室126㎡（18m×7m、2クラス分）、印刷室27㎡（4.5m×6m）、校長室63㎡（9m×7m、1クラス分） ・統合型校務支援システムを導入している。 ・現在の駐車区画40（うち障がい者用1）

議題（１）目指すべき中学校のあり方について

豊山町学校施設改築・長寿命化計画（P39）					豊山中学校の現状	
学校施設の目指すべき姿			整備内容例			
2	快適な学習生活空間・環境への配慮	1	快適な学習生活空間	・勉強に集中できる快適な学習環境	→自然採光・通風の確保 →適正な照度、温熱環境等を確保する設備	・本館の普通教室、特別教室はすべて南向きに配置されている。体育館棟にある加工室のみ東向き。 ・普通教室、特別教室にエアコンを整備している。
				・健康を守る快適な生活環境	→清潔感のあるトイレ(適切な水圧の確保、臭気の改善、清掃・メンテナンスのしやすい仕様、トイレの洋式化) →適切な断熱による結露防止、木質化による調湿 →シックハウス症候群対策（低VOC製品※、十分な換気が行える設え） ※低VOC製品：有害物質であるVOC(揮発性有機化合物)の含有量が低い製品のことを示す。VOCは主に塗料や接着剤、アスファルト等に含まれている。	・湿式トイレ、便所の形式は和式と洋式が混在している。シャワートイレなし。 ・内壁の木質化はなし。 ・局所的な換気設備はあるが、基本的に窓等を活用した換気を行っている。
				・学校生活が楽しくなる豊かな空間	→季節を感じる植栽整備 →ラウンジなどの教室以外の居場所づくり →十分な屋外の遊び場 →交流空間としてのトイレ	・敷地境界に植栽あり。また、校地内に花壇あり。 ・ラウンジに該当するスペースはなし。 ・中学校なので遊具はない。 ・現在のトイレは狭小であり、臭気も強い。
		2	環境への配慮	・自然エネルギーの活用	→太陽光発電、太陽熱利用など →トップライト・光ダクト・バランスサッシ(換気塔)などの自然採光・通風施策	自然エネルギーを活用する設備はなし。
				・省エネルギー対策	→外壁・屋根・開口部の断熱強化、屋上・壁面緑化、庇等による日射制御 →省エネ設備機器の採用	構造的な省エネルギー対策は行っていない。
				・環境教育の素材となる学校施設	→ビオトープ、地域環境とつながる敷地内緑化 →環境配慮施策の学習用サインパネル※ ※環境配慮施策の学習用サインパネル：校舎の壁面などに省エネ効果のある導入設備について図解付きで示し、学習効果を担ったパネルのことを示す	・敷地境界に植栽あり。また、校地内に花壇あり。 ・省エネ導入設備は無いことから、環境配慮施策の学習用サインパネルは無い
		3	だれもが使いやすい学校	・ユニバーサルデザインの徹底	→分かりやすいサイン(見やすい文字サイズやピクトサイン※、英語併記など)、使いやすいトイレ(洋式化、手すり設置など) →インクルーシブ教育システム（障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み）の構築 ※ピクトサイン：主に教室やトイレのサインなどに使用される視覚記号（アイコン）のこと	・トイレは一部洋式化されている。また、障がい者用トイレは設置してある。 ・体育館の渡り廊下や昇降口、玄関などにスロープを設置している。
				・バリアフリー施設の整備	→エレベータ、手摺、多目的トイレ、車いす駐車場の整備 →屋内外の段差解消、すべりにくい床仕上げ	障がい生徒が使用できるエレベーター1基、体育館の渡り廊下や昇降口、玄関などにはスロープを設置している。障がい者用トイレはあり。障がい者用駐車場は1台あり。

議題（１）目指すべき中学校のあり方について

豊山町学校施設改築・長寿命化計画（P39）					豊山中学校の現状		
学校施設の目指すべき姿			整備内容例				
3	地域コミュニティの拠点形成	1	学校と地域の連携・協働	・地域との接点となる空間の整備	→地域の見守りを活用する空間（見通しのよい敷地境界の設え、地域が日常的に利用できる空間の整備） →郷土や学校への愛着を育む施設整備（地域の歴史を学べる室の整備、歴史的なモニュメントの保存）	学校営業時間外の学校施設開放は行っているが、地域が日常的に利用できる空間はない。	
				・学校参加促進・利用しやすさへの配慮	→ユニバーサルデザインの徹底、わかりやすい動線 →明確なセキュリティラインの設定 →来客用駐車場整備		・明確なセキュリティラインは設定されていない。 ・来客者用として数台分、区画を確保しているが、明示はしていない。
				・地域特性を生かした教育	→航空宇宙産業を活かした教育		
		2	地域開放、地域施設との複合	・地域の生涯学習のための機能整備	→社会体育に対応できる体育館（規模・天井高さ）	【中学校で行う種目】 バスケットボール・バレーボール・マット運動・跳び箱運動・ダンス・体づくり運動（ボール・平均台・フラフープ） 【学校開放で行われている種目】 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ソフトバレー、卓球、新体操、インディアカ、剣道、柔道、ランニングコースを使用したランニング（バレーボールの利用が多い）	
					→クラブハウス、屋外トイレ等地域利用施設の整備	・平成31年度（コロナ影響前）：学校開放登録団体76団体 ・屋外トイレはあるが、地域用のクラブハウスはない	
					→社会教育センターの図書室と学校図書館の共同利用	図書室の地域開放は行っていない。	

議題（１）目指すべき中学校のあり方について

豊山町学校施設改築・長寿命化計画（P39）					豊山中学校の現状
学校施設の目指すべき姿			整備内容例		
4	安全・安心な施設環境の確保	1	災害に対応した学校	・地震などの災害に強い学校 →躯体の健全性を保つ(防水劣化、ひび割れによる漏水の防止・改善) →非構造部材、設備機器の耐震化による安全確保	耐震改修工事実施済み
			災害に対応した学校	・町指定緊急避難場所としての万全な災害対策 →マンホールトイレ、かまどベンチ、防災備蓄倉庫、貯水槽、非常電源等の災害時に利用できる備品・設備の整備 →避難所となる体育館と校庭・駐車場との連携 →防災拠点としての機能拡充	・体育館と校庭は隣接している。駐車場と体育館の間は、建物がある。 ・マンホールトイレ1箇所あり ・町の防災倉庫を設置予定（令和3年8月）
		2	日常の安全性確保	・教職員が見守りやすい環境 →校内各所の教師コーナー、訪れやすく相談しやすい職員室、相談室等	本館1階に職員室及び教育相談室がある。
			日常の安全性確保	・防犯対策による安心な学校 →地域の見守り →セキュリティ区画、防犯カメラ	・不審者情報等について、保護者向けにメール配信を行っている。防犯対策として、校地出入口5箇所に管理用カメラを設置している。 ・校地外については、防災安全課所管事業として次の防犯対策を行っている。 町内17箇所（33台）に防犯カメラの設置 交通安全協会、PTA等による交通指導 防犯協会及び自主パト隊による防犯パトロール 老人クラブの通学路見守り活動
			日常の安全性確保	・日常の事故を防止 →窓・階段などからの落下防止 →ゆとりある廊下・階段	窓に落下防止柵等はない。 廊下幅：2.3m、階段幅2.25m
日常の安全性確保	・（新）コロナ禍から将来へ →感染症対策	・移動式サーキュレーターを用いた教室内の空気循環 ・職員室内教員用デスクへのアクリルパネル設置 ・水道蛇口のレバーハンドル交換 ・固定式机椅子の可動式への入替			
5	財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営	1	計画的な整備、敷地利用の効率化	・施設、敷地の効率化 →余裕教室の活用、一体化・複合化、プール共有化	・余裕教室はない。 ・他校と共用している施設はない。 ・プールの一般開放は行っていない。
			計画的な整備、敷地利用の効率化	・学校運営を極力支障無く継続しながらの施設整備 →仮設校舎を極力少なくする整備計画、他公用地の活用 →児童生徒の安全に配慮した工事車両動線、工事ステップの想定 →学校運営に配慮した不公平感のない整備スケジュール	—
			計画的な整備、敷地利用の効率化	・市街化調整区域の扱いや航空産業等民間施設動向を踏まえた人口動向に柔軟に対応するフレキシブル性の確保 →増築余地の確保、将来の用途変更を考慮した余裕あるスパン・階高設定	2040年までの人口は現在とほぼ変わらないものと予測されている（豊山町第5次総合計画）
		2	維持管理に配慮した施設計画	・将来にわたる維持管理・更新に配慮した施設 →ランニングコストに配慮した設備 →メンテナンスしやすい空間、仕様 →将来的な設備増設に配慮した予備スペースの確保	—